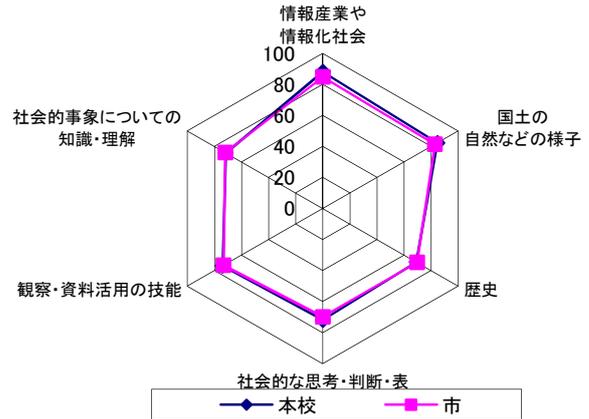


# 宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	88.1	84.7
	国土の自然などの様子	84.6	82.7
	歴史	69.2	69.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	71.9	69.9
	観察・資料活用 of 技能	74.0	73.3
	社会的な事象についての知識・理解	71.7	71.9



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	○平均正答率は、市の平均を3.4%上回っている。中でもホームページを作成する際の注意すべき内容について判断する問題は、正答率が94.2%と大変良好である。この領域の問題については、すべて市の平均を上回っている。	○情報ネットワークについて、コンビニエンスストアについての問題が出題されていたが、それ以外の産業分野での利用の仕方についても関心をもって学習できるようにしていく。また、様々な情報の利点・欠点について考えさせ、時と場に応じた利用の仕方ができるようにしていきたい。利用する際のマナーや注意点については、他教科の中でも継続的に扱い、考えさせていく。
国土の自然などの様子	○平均正答率は、市の平均を1.9%上回っている。中でも資料を読み取り、林業の現状を把握する問題は、正答率が91.7%と良好であった。環境を守る取り組みについて判断する問題についても、市の平均を上回っている。	○環境問題については、他教科でも取り上げる機会が多いので、関心が高まるようにしたい。そのために、ニュースや新聞等の情報に目を向けさせ、話題にして継続して考えられるようにしたい。また、普段の授業の中で、資料を読み取る活動を取り入れ、観察・資料活用 of 技能が身に付くよう努めていく。
歴史	○平均正答率は、市の平均を0.3%下回っている。縄文・弥生時代から室町時代までの問題については比較的よくできているが、天下統一から江戸時代の文化と学問についての問題は、正答率が低い。	○歴史分野については、興味・関心が高い児童と苦手な児童の差が激しく、いかに関心を高めていくかが重要である。時代の流れに沿って社会的な事象をとらえさせ、文化面・外交面など観点に沿って時代を比較する学習も取り入れていきたい。また歴史上の人物がその時代にどんなことを思い、どんなことを願っていたのかを考え、表現しまとめる活動を多く取り入れていきたい。